

# へガサスがGマークを取得

## 企業価値創造と質の向上

【神奈川】食品輸送を取得した。一番の目的は「企業価値の創造」をメインに取り扱うべきであったと統括運行管理部長の安部洋輔氏は話している。

Gマーク取得の計画が持ち上がったのは、014年に経営理念と中期経営計画を策定した時、所長を務めていた小玉社長が中心となり、事業の健全化・安全意識の向上などの改革に乗り出した。全車に最新のデジタルコを導入するなど環境整備を進め、Gマーク取得に向けて歩みを進めてきた。小山徳之所長は「Gマークは今やスタンダードになりつつある。荷主だけではなくドライバーの間でも認知度が上がっており、経営戦略上はもちろぬ、人材確保の面でも効果がある」と指摘する。また、「現代では一流の荷主ほど運送



会社は2017年度、グリーン経営認証取得に乗り出す。また、将来的にはISO9001の取得を視野に入れている。

改善への情熱の裏には、「ドライバーのイメージを向上させ、若い人にとって魅力的な職業である」と認知してもらいたい」という小玉社長の思いがある。週休2日制の導入や会社負担による退職金の積み立てなど、労働環境の整備を進めている。魅力的な環境を整え、人材の確保・定着につなげていく構えだ。小玉社長は、「課題の多い業界だが、目指すべきは100%クリーンな労働環境。若い人が継続して働ける会社にしていきたい」と強調する。

(田川侑史)

# 協運関 ETCカードのパンフ配布

【関東】4月1日から高速6社が「車両制限令違反を繰り返すと」のパンフを配布している。ETCコーポレーションの見直しを実施したことに伴い、関東運送事業協組(角田正一理事長)では「ETCコーポレーションカード利用の皆様へ、車両制限令違反を繰り返すと大変です」と題したパンフレットを作成。組合員企業に所属する

も必ず一読して適正なカード使用を」と呼びかけている。

また、見開きで「違反行為に関するQ&A」を掲載し、累積違反点数の計上期間など具体的な注意点を分かりやすく説明。「ネットワークのカード約款より関連協のカード規定の方が厳しい理由」としては、連帯責任による「甚大な損害(割引還元が月約5億円)を未然に防ぐための措置」としている。

平野商運 ラッピング車導入

### 「身が引き締まる思い」

ドライバーの前田氏が津島市をPR

【愛知】ラッピングトラックがサービス品になり、会社イメージの向上、会社のイメージアップにつながる。

平野商運(平野隆之社長、津島市)の前田昇一氏に話を聞いた。

前田氏は郵便物配送をメイン業務としており、同社入社前を含め、現在では中部・関東(橋本市)は8日、同社の女性ドライバー(トラ



前田氏は、「今までも事故は絶対起こさないと、思って運転してきたが、より身が引き締まる思いがする」とし、「今まで以上に視線を止まっている時

## 丹下氏が物流戦略本発売

「企業経営の物流戦略研究(第2版)」

【愛知】愛知や静岡のトラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会で座長を務める、丹下博文氏(愛知学院大学大学院教授)がこのほど、「企業経営の物流戦略研究(第2版)」を発刊した。

同書は8章で構成されており、物流・ロジスティクスの発祥と変遷、コールドチェーン(低温物流)の社会性、共同物流・共同配送に関する新潮流など、物流危機を乗り越え物流革命を實踐する処方箋として、学術と実務の両面から経済や産業の発展に寄与したいという思いが込められている。

(伊藤行理)



# 女性が活躍

【愛知】安心と満足感を感じるようになった。信じて止まっている時

【愛知】安心と満足感を感じるようになった。信じて止まっている時

【愛知】安心と満足感を感じるようになった。信じて止まっている時

【愛知】安心と満足感を感じるようになった。信じて止まっている時

【三重】総合物流企業として躍進するドリムホールディングス(渡邊孝雄社長、松阪市)は、得意とする物流・輸送分野に特化した子会社4社を構築し、各子会社の横断的活用も視野に入れ、ホールディングス形式を採用している。同社が新たな事業として加盟したのが内職市場(作野薫社長、愛知県春日井市)。

## ドリムホールディングス 内職市場加盟で新たな物流創出

人材確保や地域雇用への効果

市場を知り、同社の理念と内職市場の事業展開が合致していたことで昨年9月から、フランチャイズ加盟へ向けた動きを開始。約半年という短期間でオープンした。

渡邊社長は「運送会社と内職は密接な関係にあり、運送会社がモノを運ぶというだけではなく、梱包や出荷業務という内職(付帯業務)を取り込むことで、付加価値を加えた配送を可能にできる。新たな物流を創出することが大事」と内職市場への加入メリットを強調する。短期間で加入だったが、実父で現会長の渡邊家辰氏が築いて



渡邊社長

不安要素を払拭させる一つとして、内職市場の研修が充実している点を挙げる。「私も含め

て、内職に携わる社員が研修に参加したが、密度の濃いノウハウを基礎から習った。内職以外でも十分に活用できることはわかり、社員のスキルアップという側面からも非常に役立つシステム」と感想を話す渡邊社長。新たに入ってくるアルバイトやパートに對しても、教育体制が確立されているのはスムーズな運営につながっている。

運送業界に限らず難題になってくる人材確保。雇用の創出に向けても、内職を活用した取り組み

【愛知】安心と満足感を感じるようになった。信じて止まっている時